THE SOCIETY FOR INTEGRATIVE MEDICINE JAPAN

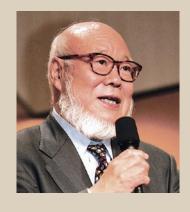
IM | News



2008年11月28日 発行

有限責任中間法人 日本統合医療学会 〒113-0023 東京都文京区向丘1-6-2 TEL: 03-3812-5030 FAX: 03-3812-5167

URL: http://www.imj.or.jp E-mail: info@imj.or.jp



"国力と統合医療"

有限責任中間法人日本統合医療学会(IMJ) 理事長 渥美 和彦

最近、世界の報道をみると、時代の大きな変化が見られる。それは、大国が国力の 誇示を主張し始めたということである。

北京オリンピックの中国、STAにおける農業問題のインド、グルジア問題のロシア、 オイルマネー投資のアラブ諸国連合などである。

そもそも国力とは何か。それには諸々の条件が提案されている。

1948年、モーゲンソーは、国力として地理、天然資源、工業力、軍備、人口、国民性、 国民の士気、外交の質、政府の質をあげている。

1975 年、クラインは、基本要素(人口、領土)、経済力、軍事力の三つをあげ、そ れに戦略目的と国家意志との結合をあげている。

2000年、ランド研究所は、国家資源、国家パフォーマンス、軍事的能力をあげている。 最近、わが国の NIRA 研究所は、市民生活向上力、経済価値創造力、国際社会対応 力をあげている。それによると、米国が一位であり、フランス、カナダに次いで日本 は四位であるという。

そして、政府は日本型ソフトパワーの強い部分として、健康平均寿命、環境技術、 ハイテク輸出、少ない犯罪率などをあげており、これらの増強を提案し、日本の国力 を世界に示そうとしている。

私は、環境指標、文化度、伝統技術をあげたい。環境指標は健康の基本であり、文 化度は、東西文化の融合を示す日本の文化の独自性をあげ、伝統技術の中に、わが国 の CAM に関する優れた医療技術がある。これらの要素を高密度に含むのが、実は統 合医療である。

結論として、政府は、世界に発信し得るわが国の誇るべき国力として、"統合医療" を推進すべきであると考える。

目次

セミナー開催 ····· p.2-3

● 第2回認定資格

第一	四日本統合医療	字云
プロ	グラム	

.....*p.4-5*

..... p.1

		-		_	_	7 1
	×		IJ7			_
_	_	_	- 4	_		_

																		100	6	-	7	
•	•	٠	٠	٠	•	•	٠	•	٠	•	•	•	•	•	•	•	•	р.	U	-	/	
																		_				

● 分科会報告

			_0
		p.	Ŏ

● 海外動向

	10	
•	ν	

IMJ ニュース

第 4 号

• 発行所 • 有限責任中間法人 日本統合医療学会

● 発行者 ●

渥 美 和 彦

•編集代表者 • 佐藤信紘